

事業所名	ふらっと		公表日 2026年 4月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		子どもたちが集まりそうな箇所には空気清浄機を配置し、感染症対策を継続しながらスペースの確保に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		職員配置数には問題はありません。	もう少し時間を使って個別の課題に取り組みられるように職員を1名~2名増員していきたいと考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		居室が2階で階段がある時点でバリアフリーとは言い難いです。手すりや滑り止めは設置できており、居室は極力段差を減らすようにしています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		居室が3部屋となり、課題・工作・学習・リラックスできるスペースと割り振っています。	居室がアト2部屋ほどあれば集中した個別課題や休憩スペースが確保できると思っていますが、物理的に難しい状況です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者のご意見は職員全員に確認してもらい反映できるように努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日のミーティングと送迎後の振り返りを欠かすことはありません。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		令和8年3月に虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会が開催されました。内容も職員に公表しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		強度行動障がい（実践）、虐待防止・権利擁護、児童発達支援管理責任者（実践）、感染症予防等の研修を受講しフィードバックしています。	年4~5回の法人研修、職員研修を実施しています。令和7年度は再度救命救急研修を受講する予定です。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		令和7年2月末に当法人HP【新着情報】に公表しました。 HP→ http://tsunagari.info	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントシートは年1回（進級）を目的に再度聞き取り、加筆を行うようしています。	必要と思われる質問項目の追加、回答のしやすさを考慮したアセスメントを心がけます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員間での打合せは必ず行っています。送迎後の振り返りでは、子どもたちの様子が事前の打合せとの差異の程度や、帰宅後の様子を想像して場合によって保護者に確認することもあります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		季節に応じたモノづくり、外出を含めた個人・小集団・集団で可能な取組みを常に意識してプログラムの立案→実施→検証→再構築を繰り返しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		特に長期休暇（春・夏・冬）、休日開所では平日とは異なるプログラムを企画運営しています。	

の 提 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		職員間での打合せは必ず行っています。送迎後の振り返りでは、子どもたちの様子が事前の打合せとの差異の程度や、帰宅後の様子を想像して場合によって保護者に確認することもあります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリングは半年に1回を目途に実施しています。令和8年度は5月～6月、10月～11月を予定としています。	新支援計画書の使用に伴い新モニタリング票を作成しモニタリングを実施します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1	3	「4つの基本活動」とは①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供となります。特に地域交流については法人主催の行事だけでなく、農園活動から収穫した野菜を近隣の方へお配りすることで様子を知っていただけるよう活動しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		工作等を勧めた際「やりたくない」と発するお子様はほとんどいません。体をのけぞらせたり、眠ったフリをしたり、途中で手を止めてしまったり様々な反応をします。いくつかゴールを設定し、そのゴールまで迎えるように工程を割っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4	令和7年10月に近隣の診療所と新たに協力医療機関として契約しました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校送迎時に先生から少しお話を聞くことがあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	ふらっとは児童発達支援センターの園児から小学校に進学する利用児が大半です。センターとの情報共有は行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		相談支援事業所、成人サービス事業所から依頼された場合に提供するようにしています。学校卒業後に契約終結様式を保護者様にお渡ししています。様式内に、サービス事業所への情報提供の可否の確認をとっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	電話や担当者会議での相談は何度もあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	高槻事業所連絡会児童部門が2019年9月に立ち上がり、様々な議題解決に向けて毎月1回のペースでオンライン会議を実施しています。自立支援協議会の委員に当法人の事業統括責任者や施設長が構成されています。協議会での議題等の共有を図っています。	高槻事業所連絡会から自立支援協議会等へ議題を挙げています。共有→解決に向かう方法を考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	常時自宅で落ち着いて過ごせているのか、療育後は食事・睡眠等のリズムが保たれているかを意識しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		自分自身の発言・行動が本当に助言・助力となっているのかは常に検証することを心がけています。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		法人HPや月1回発行している「ふらっとニュース」、Instagramで活動の様子を伝えていきます。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4				
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	ご家族への周知は徹底できていません。	面談時に確認していただいたり、HP上に掲載するか検討します。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		法人研修も含めて予行訓練を実施しています。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		新規契約時に必ず確認しています。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	ご家族への周知は徹底できていません。	面談時に確認していただいたり、HP上に掲載するか検討します。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年4～5回の法人研修内で必ず実施しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		対象となるお子様はいらっしゃいません。必要になるのであれば保護者様、行政期間とも相談します。			